



千歳市における空港の歴史は、現在の国道36号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正15年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し、97年目を迎えます。

新千歳空港は、2本の3,000m滑走路を有する北海道における基幹空港です。北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、国際拠点空港化を目指しており、平成6年には日本初の24時間空港として運用を開始し、平成22年3月には国際線旅客ターミナルビルが供用を開始しました。

令和2年6月からは、民間委託により、北海道エアポート株式会社による滑走路等の空港関連施設とターミナルビル等の上下一体運営が開始されました。今後、民間の経営能力を活用した戦略的な運営によって、就航路線の拡大、利用者利便の向上など、さらなる発展が期待されます。

令和4年における新千歳空港の旅客数は、約1,522万6千人で、新型コロナウイルス感染症流行による行動制限のない長期休暇や全国旅行支援などによる国内線の回復、2年4か月ぶりとなる国際線定期便の再開などによって、新型コロナウイルス感染症流行の影響により1,000万人を下回ったここ2年から大きく回復しました。

新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年の旅客数は、約2,459万9千人で、6年連続で過去最高を更新し、航空路は国内各地31都市、海外ではヘルシンキ、シドニーをはじめ中国、韓国、台湾などの25都市と結ばれていました。中でも、1日58往復（令和5年4月現在）が運航する新千歳－羽田線は、世界有数の輸送人員を誇る路線であり、令和元年には年間約1,019万人が利用しています。

市内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の4つの旅客駅が設置されています。令和3年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内6位、7位と多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うJR千歳線は市街地において高架化されたJR北海道の最大幹線で、道内主要都市からの空港連絡鉄道

のほか、本州連絡鉄道としての性格を帯びています。

国道36号は、札幌－千歳－苫小牧－室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道5路線と道道14路線や鉄道とともにネットワークを構成することで、物流の合理化など北海道の発展に寄与しています。

また、北海道を縦横断する高速自動車国道の「北海道縦貫自動車道」と「北海道横断自動車道」では、道内における連絡機能の強化や地域間交流の活性化、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的として、各道路の拠点となる道内主要都市へ向けた整備が進められています。市内では、接続する千歳IC及び千歳東ICに加え、平成25年8月には新千歳空港ICが開通し、新千歳空港へ向かう新たなルートが確保されたほか、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路についても、令和2年3月に、千歳－長沼間を結ぶ泉郷道路が開通するなど整備が進んでいます。

千歳は、国際拠点港湾を有する苫小牧・室蘭と鉄道や道路で直結しており、北海道における「空・陸・海」をジョイントする一大交通拠点として、成長を続けています。



59 新千歳空港概要

(1) 基本施設

面積 728 万㎡
 滑走路 A滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
 B滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
 誘導路 延長 16,612 m 幅 23m~58m
 エプロン 面積 826,504㎡ 大型航空機用53 バース 中型航空機用3 バース
 小型航空機用8 バース

北海道エアポート(株)

(2) 旅客ターミナルビル

ア 床面積・用途

(単位 ㎡)

区分	国内線ターミナルビル	用途
地下1階	23,807	
1階	43,972	バゲージクレーム 到着ロビー等
2階	57,582	出発ロビー 搭乗待合室 ショッピングワールド等
3階	36,624	グルメワールド 有料待合室 ホテル等
4階	16,815	温泉施設 映画館 ホテル等
5階	4,722	ホテル等
塔屋	610	
計	184,132	
区分	国際線ターミナルビル	用途
地下1階	821	
1階	27,302	車寄せロビー ホテル等
2階	41,510	到着ロビー 到着コンコース ホテル等
3階	42,807	出発ロビー 出発コンコース ホテル等
4階	16,259	有料待合室 ホテル等
5階	4,146	ホテル等
6階	3,580	ホテル等
7階	3,580	ホテル等
8階	3,580	ホテル等
塔屋	53	
計	143,638	
区分	連絡施設	用途
地下1階	224	
1階	1,815	ホール
2階	8,072	連絡通路等
3階	8,072	エンターテイメント施設
4階	2,942	機械室等
5階	—	
塔屋	3	
計	21,128	

イ 機械設備

(ア) 国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	82基
	旅客用(身障者兼用)エレベーター	20基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	13基
	出発・到着ベルトコンベア	28基 (出発18 到着10)
	ダムウェーター	2基
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード125台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	43台	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機	

(イ) 国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	15基
	旅客用エスカレーター	31基
	ムービングサイドウォーク(動く歩道)	6基
	旅客用(身障者兼用)エレベーター	25基
	ホテル客用エレベーター	4基
	人荷用エレベーター	15基
	出発・到着ベルトコンベア	37基 (出発26 到着11)
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード188台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	31台	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機(国内線配下装置)	

(ウ) 連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク(動く歩道)	8基
	旅客用(身障者兼用)エレベーター	3基
	人荷用エレベーター	1基
フライトインフォメーション	表示ボード20台	
デジタルメディア設備	20台	

北海道エアポート(株)



(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア 航空会社棟

(単位 m²)

区 分	日本航空棟	A N A 棟	用 途
地下1階	484	236	荷捌場・事務室等
1 階	7,990	5,618	
2 階	965	369	
計	9,439	6,223	

イ 代理店棟 (日通棟を含む)

(単位 m²)

区 分	代理店上屋	用 途
地下1階	245	荷捌場・事務室等
1 階	4,645	
2 階	1,269	
計	6,159	

北海道エアポート㈱

(4) ターミナルアネックスビル

(単位 m²)

区 分	ターミナルビル付属棟	用 途
地下1階 (塔屋含む)	7,602	事務室等

北海道エアポート㈱

(5) ケータリング (機内食) 施設

(単位 m²)

区 分	ケータリング施設	用 途
1 階 (塔屋含む)	10,160	機内食工場・食品調整工場等
2 階		

北海道エアポート㈱

(6) 車両整備格納庫

(単位 m²)

区 分	A 棟	B 棟	用 途
1 階 (塔屋含む)	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫
2 階			

北海道エアポート㈱

60 新千歳空港乗降客数の推移

年・月	総 数	乗 客	降 客
30年	(3,725,840) 23,313,311	(1,853,677) 11,704,296	(1,872,163) 11,609,015
元年	(3,866,519) 24,599,263	(1,927,802) 12,347,349	(1,938,717) 12,251,914
2年	(634,398) 9,299,961	(328,474) 4,704,722	(305,924) 4,595,239
3年	(25) 8,233,438	(17) 4,122,890	(8) 4,110,548
4年	(255,891) 15,226,250	(119,189) 7,645,564	(136,702) 7,580,686
1月	(79) 887,864	(79) 475,659	(0) 412,205
2月	(0) 555,443	(0) 278,623	(0) 276,820
3月	(0) 986,264	(0) 500,795	(0) 485,469
4月	(0) 906,793	(0) 438,504	(0) 468,289
5月	(0) 1,147,432	(0) 586,694	(0) 560,738
6月	(44) 1,275,212	(44) 634,571	(0) 640,641
7月	(2,534) 1,512,528	(1,015) 752,789	(1,519) 759,739
8月	(5,606) 1,728,919	(3,050) 879,957	(2,556) 848,962
9月	(1,146) 1,574,334	(619) 794,463	(527) 779,871
10月	(2,757) 1,583,339	(853) 804,934	(1,904) 778,405
11月	(44,905) 1,437,593	(20,965) 721,159	(23,940) 716,434
12月	(198,820) 1,630,529	(92,564) 777,416	(106,256) 853,113

1 ()内は国際線乗降客数で再掲である

2 令和4年の数値は速報値

国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート(株)新千歳空港事業所(空港政策課)

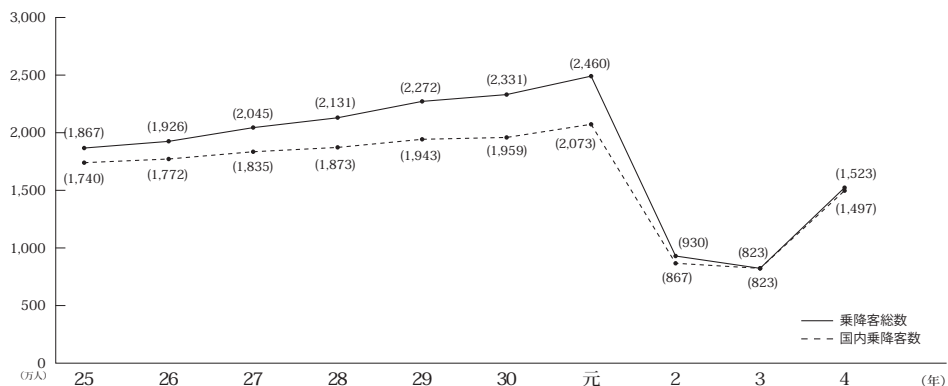
61 新千歳空港乗降客数（令和4年）

種別	路線	乗降客数	
総数		15,226,250	
国内線総数		14,970,359	
拠点空港	社会管理港	成田	1,637,417
		中部	1,193,616
		関西	1,089,505
	国管空港	大坂	979,115
		稚内	51,786
		釧路	61,958
		函館	55,035
		仙台	674,106
		新潟	120,728
		東京	6,833,056
特定地方管理空港	広島	148,420	
	福岡	577,196	
地方管理空港	沖縄	99,713	
	秋田	81,758	
	山形	26,799	
	札幌	20,585	
	中津	81,441	
	女別	166,229	
	青森	126,055	
	花巻	62,756	
	福島	30,033	
	富山	43,285	

種別	路線	乗降客数
地方管理空港	松本	41,232
	静岡	64,752
	神戸	466,438
	岡山	14,685
共用空港	出雲	4,709
	茨城	149,256
	小徳	64,636
	松島	3,208
	その他	851
国際線総数		255,891
	韓国（ソウル、釜山）	115,783
	台湾（台北）	47,974
	香港	34,906
	その他定期路線（バンコク、シンガポール、クアラルンプール）	57,041
	チャーター便等	187

北海道エアポート(株)新千歳空港事業所（空港政策課）

乗降客数の推移



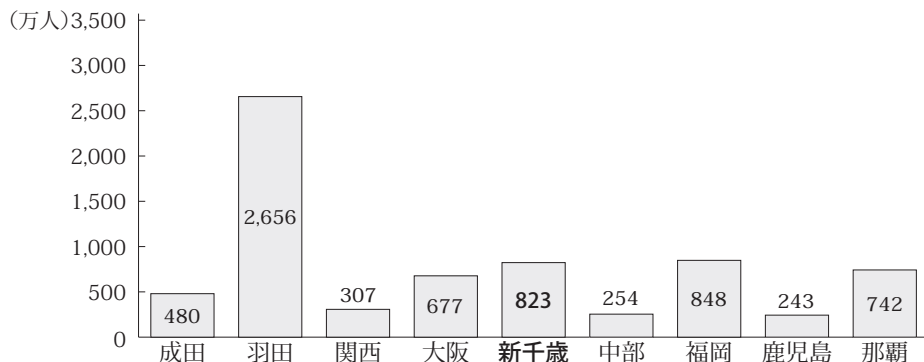
62 新千歳空港貨物取扱量の推移

(単位 kg)

区分	総数		積荷		降荷	
	3年	4年	3年	4年	3年	4年
総数	(16,127,775) 120,696,265	(6,402,699) 122,746,357	(14,140,670) 65,594,053	(5,075,606) 62,165,689	(1,987,105) 55,102,212	(1,327,093) 60,580,668
1月	(1,551,406) 8,905,155	(780,023) 8,054,301	(1,416,893) 4,465,584	(610,700) 3,749,236	(134,513) 4,439,571	(169,323) 4,305,065
2月	(1,645,815) 7,349,532	(606,372) 7,531,451	(1,567,263) 3,253,827	(470,265) 3,270,125	(78,552) 4,095,705	(136,107) 4,261,326
3月	(1,694,291) 9,857,523	(450,695) 8,951,836	(1,554,034) 5,016,824	(374,833) 3,686,272	(140,257) 4,840,699	(75,862) 5,265,564
4月	(1,906,777) 9,624,376	(599,979) 8,832,469	(1,792,593) 5,309,484	(507,347) 4,173,196	(114,184) 4,314,892	(92,632) 4,659,273
5月	(1,461,444) 8,309,465	(573,037) 8,115,013	(1,359,096) 4,623,506	(499,008) 4,077,339	(102,348) 3,685,959	(74,029) 4,037,674
6月	(986,099) 8,835,344	(511,887) 8,898,516	(845,077) 4,744,426	(438,977) 4,651,149	(141,022) 4,090,918	(72,910) 4,247,367
7月	(1,245,747) 11,594,900	(427,208) 11,154,625	(1,121,210) 7,209,325	(340,782) 6,372,613	(124,537) 4,385,575	(86,426) 4,782,012
8月	(907,265) 10,031,046	(408,634) 11,067,066	(747,856) 5,819,089	(325,802) 6,132,017	(159,409) 4,211,957	(82,832) 4,935,049
9月	(1,215,073) 10,853,162	(517,261) 11,523,954	(974,117) 6,553,746	(402,978) 6,747,458	(240,956) 4,299,416	(114,283) 4,776,496
10月	(1,143,852) 11,026,544	(431,085) 12,517,483	(956,865) 6,495,318	(324,806) 7,111,921	(186,987) 4,531,226	(106,279) 5,405,562
11月	(1,166,482) 10,557,374	(448,885) 11,655,764	(753,841) 5,349,954	(281,581) 5,667,579	(412,641) 5,207,420	(167,304) 5,988,185
12月	(1,203,524) 13,751,844	(647,633) 14,443,879	(1,051,825) 6,752,970	(498,527) 6,526,784	(151,699) 6,998,874	(149,106) 7,917,095

1 ()内は国際貨物量で再掲である
北海道エアポート(株)新千歳空港事業所(空港政策課)

主要空港乗降客数(令和3年)



<資料>国土交通省「空港管理状況調査」(空港政策課)

63 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の5による共用飛行場です。

面積 約1,060万㎡

滑走路 東側滑走路 延長3,000m 幅60m (セメントコンクリート舗装)

西側滑走路 延長2,700m 幅45m (アスファルトコンクリート舗装)

1 表233(3)に再掲

航空自衛隊千歳基地

※基地全体 1,054万㎡

飛行場 621万㎡

64 空港除雪車両車種別保有台数

車種	新千歳空港
プラウ除雪車	21
スノーパ除雪車	20
ロータリ除雪車	8

車種	新千歳空港
凍結防止剤散布車	2
計	51

1 令和5年4月1日現在
北海道エアポート㈱

65 鉄道旅客輸送人員の推移 (乗車人員)

(単位 千人)

駅名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
総数	10,012	10,356	10,373	5,203	5,981
千歳駅	3,262	3,317	3,321	2,485	2,520
南千歳駅	510	557	569	329	349
新千歳空港駅	6,240	6,482	6,482	2,389	3,112

1 長都駅は無入駅のため不詳 美々駅は平成29年3月4日廃止
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

66 令和3年度道内駅別乗車人員 (1日平均)

(単位 人)

順位	駅名	乗車人員	順位	駅名	乗車人員
1 (1)	札幌	66,153	11 (11)	小樽	5,240
2 (2)	手稲	11,568	12 (12)	野幌	4,680
3 (3)	新札幌	11,021	13 (15)	苗穂	4,679
4 (4)	琴似	8,939	14 (14)	大塚	4,640
5 (5)	桑園	8,613	15 (13)	星置	4,571
6 (8)	新千歳空港	8,526	16 (16)	発寒中央	3,712
7 (6)	千歳	6,905	17 (17)	稲積公園	3,613
8 (7)	白石	6,566	18 (18)	発寒	3,549
9 (10)	恵庭	6,159	19 (20)	岩見沢	3,303
10 (9)	北広島	5,958	20 (19)	森林公園	3,278

1 ()内は前年度順位
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

67 高速自動車国道

(1) 道央自動車道施設概要

路線名	北海道縦貫自動車道 函館名寄線
区間	茅部郡森町―士別市
延長	443.5km (千歳市域9.5km)
車線数	4車線 (一部暫定2車線)
設計速度	120km/時、100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度100km/時 (一部区間80km/時又は70km/時) 最低速度50km/時

サービスエリア 4か所 (有珠山 樽前 岩見沢 砂川)

パーキングエリア 11か所 (八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪)

1 令和5年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

(2) 道東自動車道施設概要

路線名	北海道横断自動車道 黒松内釧路線・黒松内北見線
区間	千歳市―釧路市、足寄町 (国 直轄区間 (本別～阿寒) を含む)
延長	254.1km (千歳市域18.4km)
車線数	暫定2車線
設計速度	100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度70km/時 (一部区間80km/時)

サービスエリア 1か所 (十勝平原)

パーキングエリア 5か所 (キウス 由仁 占冠 長流枝 上浦幌)

1 令和5年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

(3) 供用状況(インターチェンジ)

大沼公園-24-森-23-落部-21-八雲-18-国縫-13-長万部-9-虻田洞爺湖-6-伊達-4-室蘭-3-登別室蘭-61-登別東-60-



- 令和5年3月31日現在
 - 供用状況欄のインターチェンジ間の数字は供用開始年を示す
 - 千歳-阿寒・足寄間は道東自動車道を示す (ジャンクションは千歳恵庭)
 - 札幌-小樽間は札幌自動車道を示す (ジャンクションは札幌)
 - 小樽-余市間は後志自動車道を示す (ジャンクションは小樽)
- NEXCO 東日本北海道支社

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移 (単位 台)

年度	総 数	日 平 均
30	4,497,284	12,321
元	4,597,756	12,562
2	2,775,536	7,604
3	3,054,766	8,369
4	3,924,302	10,752

NEXCO東日本北海道支社



68 バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移

(単位 千人)

年度	30	元	2	3	4
輸送人員	3,163	3,163	1,955	2,027	2,316

1 千歳市内に路線を持つ会社4社の合計である
北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

(2) 会社別・路線別輸送人員 (令和4年度)

(単位 千人)

会社名	路線	輸送人員	会社名	路線	輸送人員
北海道中央バス		1,636	千歳相互観光バス		436
	千 歳	516		青 葉	63
	千歳空港支笏湖	52		泉 沢	256
	苫 小 牧	219		勇 舞 空 港	76
	千 歳 市 内	849		市民病院プール	41
道 南 バ ス		216	あつまバス	千 歳	28
	苫小牧千歳空港	145			
	室蘭千歳空港	40			
	勇舞千歳空港	31			

北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

69 タクシーの輸送状況の推移

年	会社数(社)	登録台数(台)	実車走行距離(千km)	乗車人員(千人)
元	6	190	6,302	2,333
2	6	190	5,999	2,159
3	6	179	2,878	1,315
4	6	201	3,627	1,621
5	6	192	5,425	2,008

1 各年3月31日現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70 自動車車種別登録台数の推移

(単位 台)

車種	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
総数	80,432	81,121	79,894	80,898	84,192
貨物自動車					
普通車	2,741	2,788	2,867	2,859	2,876
小型四輪車	2,872	3,094	3,100	3,264	3,356
小型三輪車					
被けん引車	273	261	266	332	334
乗合自動車					
普通車	264	254	222	211	220
小型車	229	240	219	214	208
乗用自動車					
普通車	20,168	20,890	19,989	20,220	22,159
小型車	23,375	23,986	23,225	23,232	23,853
特殊用途車					
普通車	1,260	1,294	1,321	1,335	1,350
小型車					
大型特殊車	700	719	735	738	759
小型二輪車	1,368	1,376	1,440	1,469	1,555
軽自動車	27,182	26,219	26,510	27,024	27,522

1 各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局ホームページ「市町村別保有車両数年報(札幌運輸支局管内)」、一般社団法人全国軽自動車協会連合会(総務課)

71 電話加入状況の推移

(単位 台)

年度	加入電話					公衆電話	
	総数	区分		100人 当たり 普及台数	住宅用 電話比率 (%)	総数	1,000人 当たり 普及台数
		事務用	住宅用				
30	14,167	4,173	9,994	14.7	70.5	123	1.3
元	13,123	3,896	9,227	13.6	70.3	130	1.3
2	12,246	3,651	8,595	12.6	70.2	130	1.3
3	11,409	3,425	7,984	11.7	70.0	128	1.3
4	10,563	3,204	7,359	10.9	69.7	117	1.2

1 各年度末現在 (INSネット回線含む)

2 INSネット1500は10回線換算とした

NTT東日本(株)北海道支店

72 郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び 印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局(再掲)		
元	15	1	129	100
2	15	1	133	100
3	15	1	112	109
4	15	1	113	107
5	15	1	111	105

1 各年4月1日現在

日本郵便株式会社 北海道支社

※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73 テレビ受信契約数の推移

(単位 件)

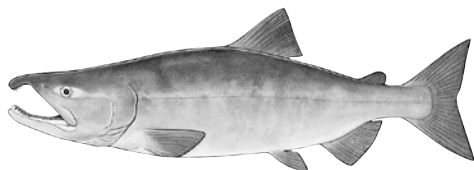
年度	契約数	衛星契約数(再掲)
29	36,558	16,713
30	37,140	17,218
元	37,572	17,625
2	37,307	17,416
3	37,121	17,366

1 各年3月31日現在

2 NHKホームページ「受信料・受信契約数に関するデータ」(総務課)

市の魚 サケ

平成8(1996)年11月1日制定



(サケ科の海産硬骨魚)

「千歳」という地名が生まれる以前から川にはたくさんのサケがそ上し、この地に住む人々の貴重な食糧でした。

今も千歳川をそ上するサケは、捕魚車「インディアン水車」とともに秋の風物詩となっています。

地下観察室で川中のサケのそ上が見られる「サケのふるさと千歳水族館」などサケを主役とした施設が市内観光の一大ポイントとなっています。